

## Ⅳ-1 思春期の心 ～青春時代へタイムスリップ～

思春期は、保護者にくっついて離れたりしながら成長していく時期です。保護者や先生に反抗したり、何となくイライラしたり、無気力になったりするようになることは思春期では当然の変化なのです。保護者の方も、腹が立ったり、どんなことが起こるのか不安になったりと、子ども以上に緊張したりして・・・。

でも、大人になった人はみんな経験しているはずですよ。それなのに、なぜわが子の思春期に動揺するのでしょうか。

青春時代にタイムスリップして、思春期真っ只中の子どもとの関わり方について考えてみましょう。



### ワーク1 『私の思春期』

- 自分がわが子と同じ年齢だった頃を思い出して書きましょう。

①好きな教科、嫌いな教科	②思い出に残っていること（学校行事等）
③夢中になっていたこと	④好きだった芸能人

- 今のわが子を見て、あなたの思春期の頃と同じだなあと思うことがありますか。自分はどのように保護者と関わっていたか、どのように保護者のことを思っていたかを振り返り、書きましょう。

### ワーク2 『保護者から見た子どもの変化』

- 思春期を迎える前と比べて、子どもの変化で気付いたことを書きましょう。

	こんなところが変わったと感じた
親や家族との関係 (会話などから気付いたこと)	(例) 会話がはずまなくなった。面倒くさがる。
学校生活や私生活に関して	(例) イライラしていることが多い。人前に出て活躍することで、自信をもったようだ。
友人との関係	(例) メールで連絡をとっていることが多い。交友関係が広がった。
その他 (自立したことなど)	(例) 自分のことは自分でできるようになった。部活動に熱中し、意欲的になった。

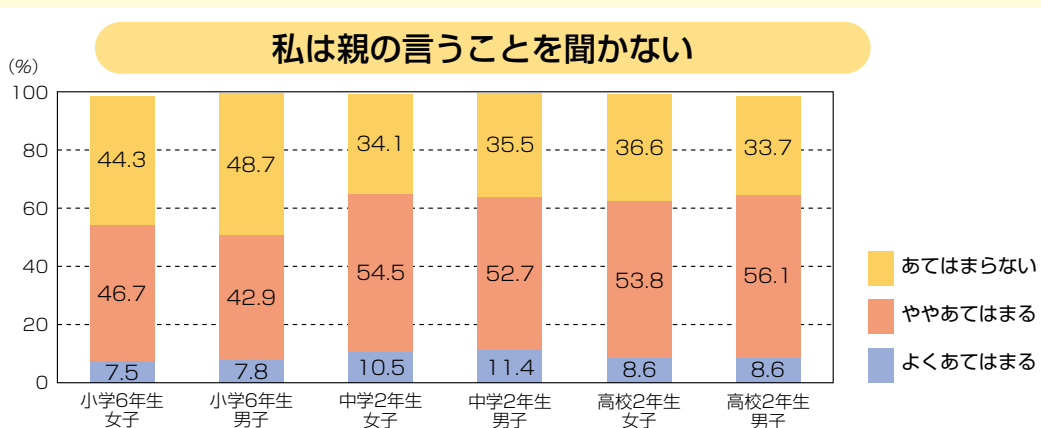
ワーク3 『思春期を迎えた子どもへの接し方』

- 変化した子どもにどのように接していけばよいと思いますか。ワーク2をもとに、書きましよう。

ふりかえり

- あなたはどれくらい子どもの気持ちに近付きましたか、書きましよう。
- 分かったこと、考えが変わったことを書きましよう。

参考資料



(注) 各学年、約2,000人を対象に調査

資料: 「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査」平成14年・文部科学省

**思春期の子どもと向き合い、見守る**

家庭教育手帳 小学生(高学年)～中学生編 3. 思春期より抜粋

※ 家庭教育手帳のデータは、岡山県教育庁生涯学習課のホームページより、ダウンロードできます。